

(二七五四)  
六 宝曆四年九月 新田郡阿左見村の原地開発につき取り替わ

せ証文〔C〕

為ニ取替ニ申証文之事

一御公儀様江、此度<sup>(このたび)</sup>原地御新田御願申上候処ニ、「願之通り被ニ仰付候、依レ之右原地之義、願人」御願申上候儀者、民家ニ取立申度御願申上、「屋敷割廿壹軒前ニ割置申候、然ル上者、右」屋敷請仕候八人ニ而致ニ出清<sup>(精)</sup>、御百姓取立」出し可レ申答ニ相定申候、尤<sup>(もつとも)</sup>右八人之内ニ誰<sup>(成)</sup>也共致ニ不清<sup>(精)</sup>、御百姓出し不レ申者御座候ハ、当」戌年迄之入目・諸掛<sup>(いりめ)</sup>り之金子請取、請地」屋敷無ニ相違ニ相渡し可レ申答ニ相定申候、然ル上」者来亥年ニ右之八人ニ而、最寄<sup>(もより)</sup>可レ然処に」井<sup>(井)</sup>どをほり、相段之上御百姓壹式軒茂」取立出し可レ申答ニ相定申候、相違無ニ御座候、「為ニ後日ニ連印形為ニ取替ニ証文、仍而如レ件

宝曆四年戌ノ九月

阿左見村

惣左右衛門印

同村

一郎右衛門印

同村

治郎左衛門印

同村

半右衛門印

同村

彦八印

同村

四郎右衛門印

同村

惣右衛門印

同村

親半右衛門代印

新太郎印

親二郎左衛門代印

新太郎印